

連載：原点

「学びたい」と思える授業をめざして

清水高等学校 松本 由莉佳

教員としての生活が始まって4ヶ月が経ちました。1学期は慣れないことが多く、特に授業準備に時間がかかってしまいました。毎時間のプリントを作成し、数学が苦手な生徒でも取り組みやすい内容にして、さらに得意な生徒が暇にならないように補充問題を載せています。数学が苦手な生徒が多いため、穴埋め形式で簡単な問題を扱い、練習問題を解かせていました。練習問題は、自分で解くだけでなく、生徒同士で教え合うことを勧めているため、活動的な場面も多く見られます。しかし、1学期は担当するクラス及び生徒の特徴が把握できていませんでした。1回の授業で1枚のプリントを終わらせる予定でしたが、進度が遅れてしまい、十分なテスト勉強の時間を確保できないこともありました。「このクラスは数学が苦手な生徒が多いから問題数を減らして確実に解ける問題を増やす」や「このクラスは説明や問題を解くのに時間をかけると間延びしてしまう」といったことを早めに把握し、それぞれのクラスに適した指導や授業プリント作りを行うべきだと感じています。6月末頃に1回目の研究授業を行い、生徒に問題を考えさせるという少し挑戦的な内容を扱いました。普段の授業は、例題及び練習問題を解くというスタイルでしたが、展開や因数分解を利用して解く問題を作成して、クラスメイトの問題をお互いに解き合うことをしました。授業後に簡単なアンケートを行い、一言コメントで「問題を作る授業は初めてで楽しかった」と書いてもらえたことが嬉しく、生徒が積極的に活動できる授業にするべきだと考えました。

私は、教えることが好きで教員を目指すようになりました。私が理想とする授業は、教員が一方的に教えるよりも、生徒が主体的に学ぶ授業です。教員が喋る時間は減らし、生徒が自分で考えたり話し合ったりする時間が多く必要だと感じます。1学期は、プリント作りに時間をかけてしまいましたが、2学期以降は、生徒主体の授業づくりができるようにしていこうと思います。生徒が興味を持てるような題材を取り上げ、対話的に活動できる場面を増やし、「学びたい」と思えるような数学の授業を展開していきたいです。

生徒指導や学校の業務等でも分からないことが多いですが、生徒と先生方に恵まれた環境だと感じています。先輩の先生方の授業を見せていただいたり、定期的に生徒に授業アンケートをとるなど、常に学び続ける姿勢を持ち、生徒とともに成長していきたいと思っています。